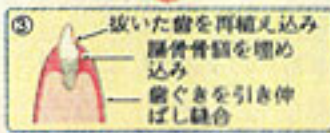


# 形成外科・歯科 かみあう連携

## 歯周病の骨移植療法



清川 隆輔 助教授



清川 宗克 医師

骨髄部分を覆うには歯肉を伸ばす必要があるが、歯の皮を伸ばしてしわをとる形成外科の技術を応用。舌があるため伸ばすのが難しい口の内側の歯肉には、歯と歯の間の隙肉を利用した。六年前から二十八・七十四歳の二十九人を手

術。術後の治療に妨げなかった二人を除き、骨の再生に成功した。五月に発行された米国の学術誌に成果を発表した。人工歯根を骨に埋め込む「インプラント治療」では歯茎と人工歯根がくっつかず歯肉がたるみ、骨が溶ける場合、全歯でも二百五十万円程度という。二人は「歯科と形成外科がチームを組めれば可能となる治療法として、各医療機関での普及を期待している。

## 大留米久 教授ら 患者の歯を移植

# 歯周病の歯茎 骨髄で骨再生

福岡市早良区原二丁目の歯科医清川宗克（みづか）と、兄の久留米大医学部（福岡県久留米市）の清川隆輔助教授（たかへ）は形成外科・顎顔面外科学に七日、重い歯周病患者の歯茎の骨を骨髄を使って再生、従来は捨てていた患者の歯を移植する治療法を開発したと発表。これまでは入れ歯をするしかなかったが、形成外科の技術を応用することで骨の再生に成功。治療後約半年で、元のように自分の歯でかめるようになったという。

術。術後の治療に妨げなかった二人を除き、骨の再生に成功した。五月に発行された米国の学術誌に成果を発表した。人工歯根を骨に埋め込む「インプラント治療」では歯茎と人工歯根がくっつかず歯肉がたるみ、骨が溶ける場合、全歯でも二百五十万円程度という。二人は「歯科と形成外科がチームを組めれば可能となる治療法として、各医療機関での普及を期待している。

北海道人形大医学部 センターの藤井健男助教授（ふじい）の指導で、骨髄で口の一部の骨を再生する試みはあったが、歯の土台全体を再生させる取り組みは世界的にも珍しい。